

鳥取市（鳥取県東部圏域）

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

鳥取市保健所では、地域移行・地域定着支援を切り口に、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行ってきた。

精神障がい者が安心して自分らしく暮らすことができるよう、協議の場において、幅広い視点で検討・取り組みを行うとともに既存の協議体と連携し、にも包括の構築を目指している。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

鳥取県鳥取市（鳥取県東部圏域）



鳥取県東部圏域（1市4町）

鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

<基本情報入力シート> 自治体名（記入してください） 鳥取県鳥取市（鳥取県東部圏域）

（※「■網掛け」部分及び「●」部分に半角数字で入力してください）

障害保健福祉圏域数（R5年3月時点）		1	か所	
市町村数（R5年3月時点）		1市4町	市町村	
人口（R5年3月時点）		219,624	人	
精神科病院の数（R3年6月時点）		5	病院	
精神科病床数（R3年6月時点）		739	床	
入院精神障害者数 （R3年6月時点）	合計	578	人	
	3か月未満（％：構成割合）	114	人	
		19.7	％	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	107	人	
		18.5	％	
	1年以上（％：構成割合）	357	人	
	61.8	％		
	うち65歳未満	122	人	
	うち65歳以上	235	人	
退院率（平成29年度）	入院後3か月時点	56.0	％	
	入院後6か月時点	72.0	％	
	入院後1年時点	86.0	％	
相談支援事業所数 （R5年4月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所	
	一般相談支援事業所数	7	か所	
	特定相談支援事業所数	22	か所	
保健所数（R5年4月時点）		1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（R4年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	8	回／年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R5年4月時点）	都道府県	有	1	か所
	障害保健福祉圏域	有	1 / 1	か所／障害圏域数
	市町村	無	/	か所／市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

令和4年度までの主な取組

- 1 保健、医療・福祉関係者による協議の場の設置
「鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行推進会議」（以下、代表者会）1～2回/年
「鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行・地域定着連絡会」（以下、実務者会）2～6回/年
- 2 精神障がい者の地域移行・地域定着支援関係職員に対する研修会 1回/年
- 3 病院での地域支援者と協働した取り組み
 病院スタッフとの検討会（取組み内容及び個別支援について）
 病院スタッフ研修会
 患者学習会
- 4 ピアサポーターの養成及び活動支援
 養成講座 2回
- 5 地域移行支援に関連した媒体作成及び活用（リーフレット、DVD、事例集）
- 6 長期入院者の実態調査
- 7 自立支援協議会（地域移行・権利擁護部会）との連携

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

鳥取市保健所では、地域移行の取り組みを鳥取県（鳥取保健所）から引き継ぎ、平成30年度から実施している。

年度	内容
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会において、東部圏域の地域移行支援体制について合意を得て、取組みを開始 ・実務者会において、地域移行に向けた具体的な協議 ・病院スタッフと取り組みについての検討会の開始 ・病院スタッフ研修会・患者学習会の開始
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業（国補助事業）を開始 代表者会及び実務者会を、以前から開催していた協議の場として位置づけ、にも包括構築の構成要素の1つである地域移行について引き続き協議 ・入院中の精神障がい者への「地域生活相談事業」開始（令和3年度で終了） ・精神障害者ピアサポートの活用に係る事業を開始（研修会、相談支援事業所に雇用の意向確認）
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ピアサポーター養成講座開催
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回ピアサポーター養成講座開催 ・代表者会及び実務者会における協議内容を、地域定着支援についても拡大
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・にも包括構築に向けた幅広い視点での協議開始 代表者会で、にも包括構築に係る現状・課題についての意見集約 実務者会で、地域定着の促進要因について意見交換

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和4年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R4年度当初)	実績値 (R4年度末)	具体的な成果・効果 (平成30年度～令和4年度)																												
<p>①地域包括ケアシステムの推進について協議の場の開催回数</p> <p>※構成員 ・代表者会：病院院長及び看護師長、基幹相談支援センター代表、相談支援事業所代表、市町担当課長、県所管課長、精神保健福祉センター所長、家族会会長、ボランティア団体代表、権利擁護センター代表、自立支援協議会代表、ピアサポーター ・実務者会：病院ソーシャルワーカー及び看護師等、相談支援事業所相談支援専門員、市町保健師・福祉担当者</p>	<p>6 代表者会 2 実務者会 4</p>	<p>3 代表者会 1 実務者会 2</p>	<p>○東部圏域における地域移行支援体制の確立（8頁） ・サービスを利用した地域移行支援について関係機関の理解が深まった。 ・地域の支援者と、病院スタッフとの連携が強まり退院支援の早い段階で、地域の支援者の介入が当たり前になった。 ・病院においてスタッフ研修会を開催し、地域移行支援について理解が深まった。 ・地域移行支援の取組み状況を共有することで関係機関の機運が高まった。</p> <p>○地域移行・地域定着支援の実践 ・実務者会で、事例検討・意見交換等を行い、地域移行・地域定着支援のノウハウについて学び実践につなげた。</p>																												
<p>②地域移行支援等サービスの利用状況</p>	<p>増加</p>	<p>増加</p>	<p>○病院と地域との協働した取り組みを行った結果、サービス利用が増加した。</p> <table border="1" data-bbox="1243 1162 1984 1329"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域移行支援サービス</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地域定着支援サービス</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自立生活援助サービス</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	地域移行支援サービス	1	6	9	10	4	5	地域定着支援サービス	0	2	1	1	0	1	自立生活援助サービス	0	0	3	9	22	15
	H29	H30	R1	R2	R3	R4																									
地域移行支援サービス	1	6	9	10	4	5																									
地域定着支援サービス	0	2	1	1	0	1																									
自立生活援助サービス	0	0	3	9	22	15																									

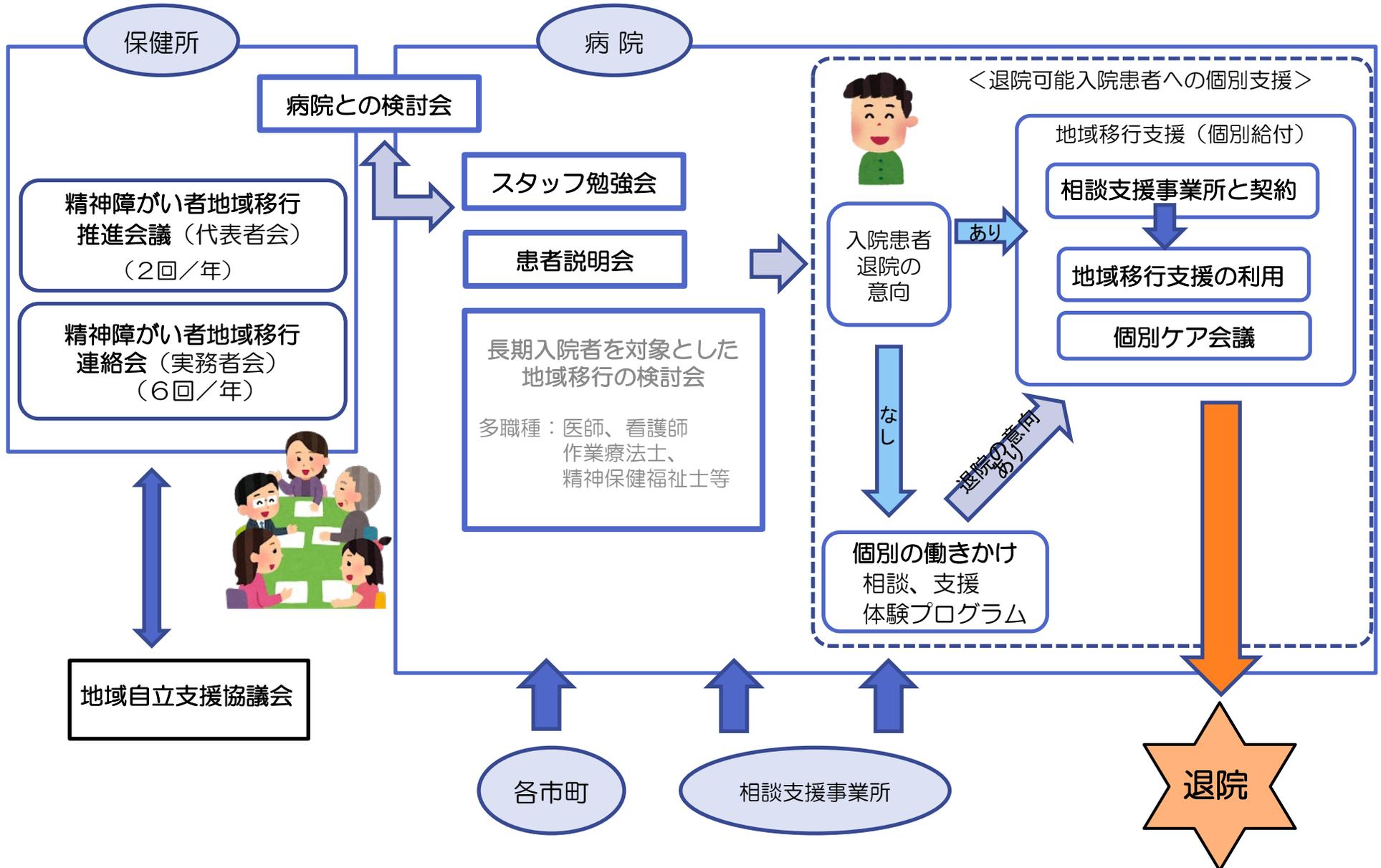
4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和4年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R4年度当初)	実績値 (R4年度末)	具体的な成果・効果 (平成30年度～令和4年度)
③ピアサポーターの活動状況	拡大	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ピアサポーターの養成 <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座 2回、修了者 15人 ○相談支援事業所が雇用 6人 <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援・自立生活援助・訪問看護等に従事 ○活動の場の拡大(雇用された事業所以外の活動) <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者学習会、地域活動支援センター等での活動 (令和4年度 12回 延20人) ・協議の場(代表者会)に委員として出席(2人)

東部圏域における地域移行支援体制

R1.5.29(水)
鳥取市保健所



5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

- ・従来から、代表者会、実務者会が協議の場として機能しており、にも包括構築に向けた取り組みについての課題共有や検討を行うことができる。
- ・医療機関や地域の相談支援事業所及び行政との間で、顔の見える関係が構築されている。
- ・地域移行支援について検討を重ねてきたことにより、入院患者の地域移行支援において相談支援専門員がサービス利用前の早い段階から基本相談として関わる体制ができている。
- ・自立支援協議会において、課題の共有や検討が行われている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
1 地域移行支援の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、医療、福祉関係者による協議の場の醸成 ・自立支援協議会等、既存協議体との連携強化 	行政	関係機関との連携 協議の場、研修会の開催 地域移行・地域定着支援の実態把握 地域移行・地域定着支援への働きかけ
2 地域定着支援に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化による地域移行・地域定着支援の更なる充実（多職種・多機関推進事業も活用） ・ピアサポート活動の推進 ・普及啓発活動の推進 	医療	スタッフの意識啓発 患者の退院意欲向上への働きかけ 地域支援者との連携、早期介入
		福祉	地域移行・地域定着支援に向けた取り組み ピアサポーターの資質向上の為の研修、活動の場の開拓
		その他関係機関・住民等	精神障害者の理解

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和5年度末)	見込んでいる成果・効果
保健、医療、福祉関係者による協議の場の開催回数	4 代表者会 2 実務者会 2	4 代表者会 2 実務者会 2	協議の場の開催により地域課題の継続した検討
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進に関する研修会の回数	1	1	地域移行・地域定着支援の推進 関係者の資質向上
病院と地域との協働した取り組みの回数 (病院スタッフ研修会・入院患者学習会、 個別対応に向けた検討会)	増加	増加	地域移行・地域定着支援促進 スタッフの意識理解促進 患者の退院意欲向上
地域移行支援等サービスの利用状況	拡大	拡大	地域移行・地域定着支援の促進 サービス利用の拡大
長期入院者で、前年、退院可能な状態の患者の退院者数	増加	増加	地域移行・地域定着支援の促進
ピアサポーターの新たな活動の場の回数	拡大	拡大	ピアサポーターの活動の場の拡大

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

鳥取市保健所が、病院や障害福祉相談支援事業所等と協働し、協議の場で課題及び取組みについて検討。自立支援協議会等と連携しながらにも包括の構築を推進

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
鳥取市保健所	にも包括構築推進 協議の場の運営 研修会の開催	行政保健部門担当課	地域における、精神の保健に関する相談・ 訪問指導等を実施
		行政福祉部門担当課	重層的支援体制の構築 福祉に関する相談
		障がい福祉課	障がい福祉に関する事務 自立支援協議会運営

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	保健所が中心となり、にも包括構築の協議の場及び 研修会を開催している。	今まで築いてきた、病院・相談支援事業所等との円滑な連携は強みで あり、この強みを礎に地域移行・地域定着支援の更なる推進を図る。 メンタルヘルスに課題を持つ人への対応状況について現状把握及び アセスメントが必要。
医療	院長・看護師長・ソーシャルワーカー等をはじめ、病院 関係者が協議の場に参加。病院関係者及び入院患 者に地域移行等の勉強会を実施。	病院関係者が、協議の場に参加し、課題の検討・共有ができています。 退院支援の早い段階で、地域の支援者の連携ができています。
福祉	障がい福祉課が、自立支援協議会を定期的に開催。 地域課題・取組みについて検討。	相談支援事業所等が、入院中の早い時期から退院支援に関わってい る。 地域課題を自立支援協議会等で検討している。
その他関係機関・住民等	協議の場に家族会、ベストフレンド(精神障がい者を 支援するボランティア団体)が参加し、課題について 共有・検討。 ピアサポーターとも連携を図っている。	それぞれの立場で精神障害者を支援する活動ができています。 家族会：家族の集まり(支え合い)や啓発等 ベストフレンド：当事者のサロン(居場所)等を開催 ピアサポーターの活動の場が広がりつつある。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等（課題・強み等）
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議（代表者会）	病院院長及び看護師長、基幹相談支援センター代表、相談支援事業所代表、市町担当課長、県所管課長、精神保健福祉センター所長、家族会会長、ボランティア団体代表、権利擁護センター代表、自立支援協議会代表、ピアサポーター	2回/年	支援体制構築に向けての課題整理、検討、事例紹介等	これまでの協議で、地域支援体制については構築できており、成果があったと考える。 他の協議体においても課題について協議しているが、全体の中で共有されていない。
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連絡会（実務者会）	病院ソーシャルワーカー及び看護師等、相談支援事業所相談支援専門員、市町保健師・福祉担当者	2回/年	地域移行・地域定着の具体的な取り組みについて共有、及び意見交換、支援体制構築に向けての課題整理・検討・事例検討等	

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

- ・にも包括構築のため、今まで圏域においては地域移行を切り口として、にも包括構築推進について協議を行ってきた。
- ・にも包括構築の構成要素についての課題は、代表者会・実務者会・自立支援協議会等で各々検討されてきている。
- ・圏域の課題、取り組み方針を関係者及び関係する各所属及び既存の協議体で共有していくことで、にも包括構築を推進していくよう考えている。効果的な、にも包括構築の協議の場を効果的に運営するためのアドバイスをいただきたい。
- ・鳥取市保健所は、鳥取市及び東部圏域4町を管轄しており、市のにも包括構築、4町支援についてもアドバイスをいただきたい。

8

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R5年7月～ 8月 R6年1月～ 2月	協議の場の開催 7月、1月 実務者会 8月、2月 代表者会	代表者会議、実務者会議 ・支援体制構築に向けての課題整理、検討 ・自立支援協議会、社会福祉協議会等、協議体と共有を図る
R5年11月	研修の開催	にも包括構築推進に関する研修の開催
通年	病院と地域との協働した取り組み	病院との検討会(長期入院者との実態把握、個別支援)、入院患者学習会、病院スタッフ研修会等の取組みと、地域移行支援に関連した媒体の活用 等
通年	ピアサポーターの活動支援	事業所での活動及び個人としての活動を支援
通年	普及啓発	相談窓口の周知・精神障害の理解に関する研修会等 高校の精神保健に関する授業の実情・課題把握
通年	多職種・多機関連携推進事業	病院及びグループホームからの地域移行支援(県事業)